

# 2024年3月期 第3四半期 決算説明資料

ジオマテック株式会社  
create coating solutions

2024年 2月8日

# 第3四半期 業績

単位：百万円	2023.12	2022.12	前年同期比	
	(3Q-FY24)	(3Q-FY23)	増減	増減率
売上高	3,421	4,606	▲ 1,185	▲ 25.7%
営業利益	▲ 472	317	▲ 789	-
(営業利益率)	▲ 13.8%	6.9%	-	-
経常利益	▲ 399	387	▲ 786	-
四半期純利益	▲ 432	▲ 115	▲ 317	-
1株あたり 四半期純利益(円)	▲ 54.68	▲ 14.63	▲ 40.05	-

※ 営業外収益（保険解約返戻金）：生命保険の解約により、保険解約返戻金として 10 百万円を営業外収益に計上いたしました。

加工高	2,891	3,987	▲ 1,096	▲ 27.5
-----	-------	-------	---------	--------

※ 加工高とは、売上高から基板材料費と外注加工費を差し引いた、成膜分の売上（付加価値収入）のことです。  
尚、加工高は、当社の管理数値として使用しているもので会計数字とは必ずしも一致しません。

- ◆ 半導体供給不足が徐々に緩和され回復への動きはみられるものの在庫調整が継続し本格的な回復に至っていないこと、また、生産機械向け設備投資環境についても依然力強さが見られないことから厳しい状況で推移。

# 財務概要

単位：百万円	2023.12	2023.3	増減
<b>流動資産</b>	<b>11,210</b>	<b>12,724</b>	<b>▲ 1,514</b>
現金・預金	3,103	5,274	▲ 2,171
受取手形・売掛金	4,449	4,045	404
電子記録債権	582	560	22
棚卸資産	2,857	2,259	598
その他	219	586	▲ 367
<b>固定資産</b>	<b>5,873</b>	<b>4,700</b>	<b>1,173</b>
有形固定資産	2,985	2,586	399
無形固定資産	137	81	56
投資その他	2,750	2,032	718
<b>合計</b>	<b>17,084</b>	<b>17,425</b>	<b>▲ 341</b>

単位：百万円	2023.12	2023.3	増減
<b>負債</b>	<b>7,294</b>	<b>7,291</b>	<b>3</b>
支払手形・買掛金	4,819	4,360	459
借入金等	1,775	2,077	▲ 302
その他	700	854	▲ 154
<b>純資産</b>	<b>9,789</b>	<b>10,133</b>	<b>▲ 344</b>
株主資本	9,533	9,966	▲ 433
その他の包括利益累計額	255	167	88
<b>合計</b>	<b>17,084</b>	<b>17,425</b>	<b>▲ 341</b>

<b>自己資本比率</b>	<b>57.3%</b>	<b>58.2%</b>	<b>▲0.9pt</b>
<b>1株あたり純資産(円)</b>	<b>1,237.56</b>	<b>1,281.10</b>	<b>▲ 43.54</b>

◆ **資産合計 340百万円減少**

主な増加要因：投資有価証券（850百万円）、有形固定資産のその他に含まれる建設仮勘定（445百万円）、受取手形及び売掛金（403百万円）  
 主な減少要因：現金及び預金（2,171百万円）、有価証券（500百万円）

◆ **負債合計 3百万円増加**

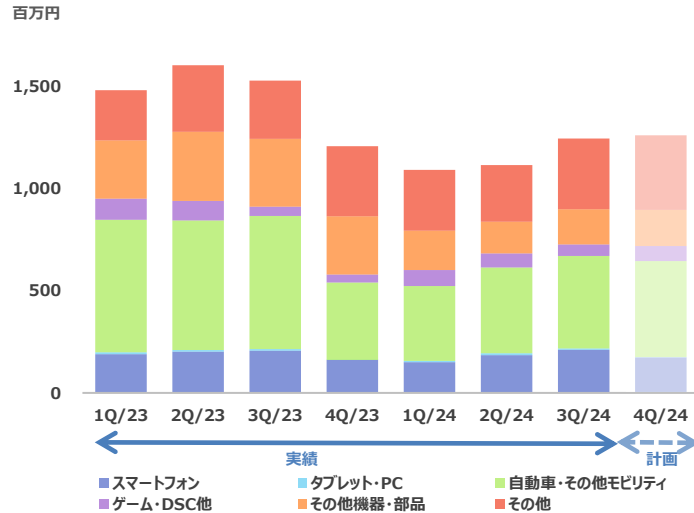
主な増加要因：支払手形及び買掛金（458百万円）  
 主な減少要因：長期借入金（1年以内返済予定の長期借入金を含む）（301百万円）、流動負債のその他に含まれる未払消費税等（73百万円）

◆ **純資産合計 344百万円減少**

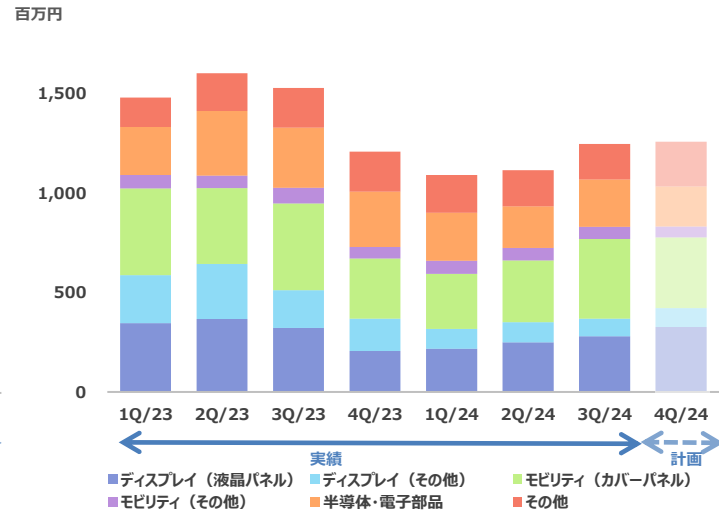
主な減少要因：利益剰余金（432百万円）

# 四半期売上実績

## 最終製品別売上高推移



## 品目別売上高推移



### ◆ディスプレイ

液晶パネル関連製品の受注は大幅に減少

主な減少要因：

- 液晶パネル用帯電防止膜やタッチパネル用透明導電膜は、前年度に一部の取引先が生産拠点の集約を実施
- 生産調整が前年度後半から継続

### ◆半導体・電子部品

半導体ウェハ向け受注は安定的に推移

生産機械向け電子部品やセンサー部品の需要は低迷

### ◆モビリティ

モビリティ向け薄膜製品の受注は減少

主な減少要因：

- 主力製品である自動車向けカバーパネルにおいて、前年度主流で流れていた機種への生産計画ピークが過ぎた
- 部材メーカーでの在庫調整回復ペースが鈍い

### ◆その他

設備投資や開発投資環境が弱含んで推移し、関連する製品・試作案件への受注回復に遅れ

# 2024年3月期 業績見通し

	2024.3					2023.3
	通期計画	H 1 実績	H 2 計画	前期比		実績
				増減額	増減率	
売上高	4,700	2,203	2,497	▲ 1,112	▲19.1%	5,812
営業利益	▲ 690	▲ 395	▲ 295	▲ 756	-	66
営業利益率	▲14.7%	▲17.9%	▲11.8%	-	-	1.1%
経常利益	▲ 620	▲ 338	▲ 282	▲ 760	-	140
当期純利益(円)	▲ 656	▲ 367	▲ 289	▲ 290	-	▲ 366

加工高	3,870	1,886	1,984	▲ 1,146	▲22.8%	5,016
研究開発費	330	151	179	27	8.9%	303
設備投資額	780	566	214	481	160.9%	299
減価償却費	390	160	230	26	7.1%	364

※2023年10月24日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表

# 経営環境及び対処すべき課題

## 経営環境

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化を背景にサービスやインバウンド需要の増加により景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。ウクライナ情勢の長期化、中東情勢の深刻化による地政学リスクの高まりや中国の景気回復の遅れ、世界的な金融引き締め継続による景気減速懸念など先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社を取り巻く事業環境は、半導体供給不足が徐々に緩和され回復への動きはみられるものの在庫調整が継続し本格的な回復に至っていないこと、また、生産機械向け設備投資環境についても依然力強さが見られないことから厳しい状況で推移いたしました。

## 対処すべき課題

このような経営環境の下、当社が認識している課題と対応策は、次のとおりであります。

### 1. 既存事業の強化

ディスプレイ、モビリティ、半導体・電子部品関連の3重点品目について、細分化して策定した商材戦略の着実な実行により、需要の発掘及び創造と競争力・収益力の強化を、能動的に進めております。

### 2. 新規分野の開拓

新規分野で伸ばすコア技術を創出する取り組みと共に、従来の部分加工受託で培った製造技術やノウハウに設備設計といったソリューションとしての価値提供による新たなビジネスモデルの拡張も進めております。

### 3. リソースの整備

製品化や品質管理のプロセス、更には個々人の業務分析から最適配置まで、全社生産性のワンランク向上の視点にて見直しを進めております。

### 4. 企業風土の改革

全社ベクトルを合せて上述の対策効果を最大化し経営体質を強化するために、現場での意識改革と同時に、全社員が活き活きと働ける環境を整えるべくマネジメント強化も併せた企業風土改革の取り組みを、継続して進めております。

## ・情報提供の目的

当サイトの目的は、当社への理解を深めていただくことを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。掲載されている情報は、インターネット上で簡便にご参照いただくために作成されたものです。当社は細心の注意を払っておりますが、掲載されている情報には不測の誤りがある可能性があります。当サイトのご利用により、被害・損害が発生したとしても、当社は一切責任を負うものでないことをあらかじめご了承ください。

## ・将来予測に関する考え方

当サイトに掲載されている情報には、当社の計画、予測など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらは、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断および仮定に基づくものであり、既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、当社の業績、事業活動、財務状況は、見通しと大きく異なる場合があります。

## ・投資判断に対する考え方

投資に関する最終的なご決定は、当サイトの情報に全面的に依存することはお控え頂き、ご自身の判断と責任において行われますようお願いいたします。

## ・情報内容変更等の可能性

当サイトまたは当サイト上のコンテンツは、予告なく変更、修正、削除、中断することがあります。当社は、サイトに掲載された情報を更新する義務を負うものではなく、その約束をするものではありません。当サイトのいかなる情報についても、常に最新情報に反映されるものでないことをご了承ください。